



近畿財務局 理財部 主計第1課 主計実地監査官 西川 直毅
平成17年採用（国家Ⅱ種）

◆現在の仕事内容

私が所属している主計第1課（災害班）では、主に災害復旧事業費の査定立会業務を担っております。具体的な仕事内容としては、災害により被災した公共施設（道路、河川、学校等）や農地・農業用施設（農道、ため池等）について、施設を管理する地方公共団体等からの補助申請に基づいて、主務省（国土交通省、農林水産省等）が実施する現地調査等に、財政を主管する財務省の立場で立会し、主務省の災害査定官等とともに現地において災害復旧事業費を決定することです。

早期復旧が求められるため、平成29年のように大型の台風等が近畿管内を直撃する等甚大な被害が生じた場合は、出張続きの日々を過ごすことになります。



（筆者は右手前）

◆現在の仕事の魅力、やりがい

迅速な災害復旧事業費の決定を通じて、被災地域の生活環境の早期回復・安定にダイレクトに貢献できることが魅力だと思います。査定立会の際は、実際に現地に赴いて被災状況を確認し、復旧工法等について、主務省の災害査定官や地方公共団体等の職員等と議論します。現地においては、数億円規模の災害復旧事業費を自ら決定してくる場合もあるため、立会官の責任は重大です。

また、査定立会に出ていないときは、ベテラン職員等を交えた職場勉強会等を行っており、経験の共有や知識の習得等を次の様々な現場に活かせるため、やりがいを感じて日々の業務に臨むことができます。

◆今までの業務経験について（印象に残っていること、苦労話など）

特に印象に残っていることは、財務省主計局への出向中に経験した、国の予算編成業務です。出向1年目に所属していた各府省の予算査定を担当している予算係（防衛省担当）では、主に自衛官等の人件費を担当しており、予算編成中は慣れない業務内容と膨大な業務量に、毎日深夜帰りの日々が続きました（職場に宿泊することもありました）。しかし、係一丸となって、予算の国会提出という目標に向かって業務に取り組み、上司や同僚に支えられながら、なんとか出向1年目の予算編成を乗り切ることができたことは、大変貴重な経験になりました。

◆近畿財務局の自慢、その他職場の雰囲気など

採用されてからいくつかの部署を経験してきましたが、どの職場も上司や同僚とコミュニケーションがとりやすく、安心して業務に取り組むことができる環境であると感じています。

また、業務以外の話をする、私が所属している職場のサッカー部では、幅広い年齢層の職員がいますが、そこで知り合った先輩、後輩とは一緒に仕事をしたことがなくても、プライベートでも仲良くしていただいております。業務以外でも職場内での交流を広げることができる点は魅力ではないかと思えます。

◆財務局を志望する方へのメッセージ

財務局には、私が現在行っている財政に関する業務のほか、金融、経済調査、国有財産等の幅広い業務があり、様々な業務に携わることになりますが、風通しの良い職場であることに加え、各種研修制度も充実しているので心配しなくても大丈夫です。

また上記のとおり財務省等の中央官庁での勤務も経験できます。財務局の業務といってもなかなかイメージが湧かないと思いますが、少しでも興味を持たれた方は、まずは官庁公開フェスティバルや官庁説明会等に参加していただき、近畿財務局の業務内容や職場の雰囲気を知ってもらえればと思います。

皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

